



今年は、新型コロナウイルス感染防止対策として遠隔方式で授業を開始しました

今年度の入学式は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、残念ながら縮小して開催いたしました。4月7日（火）には、安倍首相より特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が発令され、福岡県もその対象地域となったため、4月9日（木）から5月6日（水）まで学生（大学院生・研究生等を含む）の学内への入構を禁止する措置を取りました。5月8日（金）から対面による通常授業ではなく、遠隔方式（①Zoomを利用したリアルタイム双方向型②録画授業型③課題授業型）による授業を開始しました。本学は、学生全員がノートパソコンを所有していることもあり、比較的スムーズにスタートすることができました。今回は、令和2年度の授業開始についてレポートします。

令和2年5月8日（金）の授業

*PCでZoomや録画の接続サイトをクリックすると

科目	教 員 名	時間	接続のリンク
経営情報学Ⅰ	経営情報学Ⅰ（1）	8時	Zoom 時間：08:00～10:00 接続サイト
	経営情報学Ⅰ（2）	8時	Zoom 時間：08:00～10:00 接続サイト
	経営情報学Ⅰ（3）	8時	Zoom 時間：08:00～10:00 接続サイト
経営情報学Ⅱ	経営情報学Ⅱ（1）	9時	Zoom 時間：09:00～11:00 接続サイト
	経営情報学Ⅱ（2）	9時	Zoom 時間：09:00～11:00 接続サイト
	経営情報学Ⅱ（3）	9時	Zoom 時間：09:00～11:00 接続サイト



本学の遠隔授業は、次の日の実施方法について前日の夕方までに一覧をHPに掲載し、その一覧からZoomや録画サイトに接続したり、課題をダウンロードしたりとすべてが分かるようにしています。また、開始にあたり遠隔授業対策室を開設し、遠隔授業のサポートを行っています。教員と学生のZoomの操作に関する相談や録画授業の撮影、HPへのアップロードなど様々なことに対応しています。外国人留学生で一時帰国したものの日本に再入国できなかった学生や様々な理由で



遠隔授業を受講できなかった学生のためにZoomでの授業も録画をしています。

新入生にとっては、新入生合宿の中止、オリエンテーションも動画配信となり、その説明のみで履修登録を行い、遠隔方式での開講となったため、大学の仕組みもあまりわからないままスタートしたことで、本当に不安だったと思います。また、友人もできず淋しいという意見も多くありました。そこで5月27日（水）コミュニケーションと自己発見I（必修科目）の授業はZoomではなく、3密を避けクラスごとに分かれて対面で実施しました。ソーシャルディスタンスを保ちながら話すことに戸惑っていましたが、クラスメイトと楽しそうに直接コミュニケーションを取る姿が印象的でした。

コロナに負けるな！遠隔授業ってどんな感じ??



遠隔授業が始まってから多くの学生の皆さんが新しい学びのスタイルで大学生活を送るようになりました。そのなかで、今回、遠隔授業を受けている経営情報学部経営情報学科秋吉ゼミナール（基礎ゼミ生も含む）の学生に実際授業を受けて感じていることをちょこっとインタビューさせていただきました。今回遠隔授業に関するインタビューにこたえてくれたのは、現在2年生基礎ゼミの吉田結梨歌さんと専門ゼミI 3年生榎崎玲奈さん。ちなみに榎崎さんは短期大学から3年次に編入学した「新入生」でもあります。

Q：遠隔授業が始まって約二カ月。遠隔授業を受けてみてなにか変わった点、良かった点などありますか？

A：榎崎；そうですね。遠隔授業のいいところはまず、家にいながら授業を受けられるので、通学時間がない分、その時間を使って遠隔授業で出された課題をこなす時間が持てた点です。通学に片道約1時間かかるので、往復の2時間がとても貴重だとすごく感じるようになりました。また、遠隔会議オンラインアプリZoomで授業を受けている科目があるんですけど、講義で自分の発表があるとき、作った資料を印刷して、人数分コピーしないといけなかったんですけど、Zoomの「共有」という機能を使うと参加者全員に作った資料を一斉に見せて発表ができるので手間もコピー代もかからず助かります。



A：吉田；私は英会話の授業を履修しているんですけど、会話をするときに先生と一対一で会話したり、参加している学生同士一対一で会話練習をする振り分け機能がとてもありがたいですね。先生がすぐ振り分けるので、なんのためらいもなくスムーズに、会話にすすめるのも良かったと思います。



面接授業でそのようなことをするときは、意外と同じ教室にいるほかの学生の会話が気になって気が散ったりするんですけど、画面を通じてするとそういうことがなくて会話に集中できるのもとてもいいですね。

Q：そうなんですね。なにかほかに気づいた点がありますか？

A：榎崎；授業とは直接関係ないんですけど、Zoomの授業の操作方法がわからなかったり、遠隔授業で起こったパソコンのトラブルもあったんですが、情報処理室のPCクリニックに相談にいったときは、とても丁寧に解決方法を教えてくれて、きちんと解決したので助かりました。ありがとうございました。あと、発表するときもほかの学生がまわりにはいると雰囲気になれて緊張することもあるんですが、Zoomを介するとそのようなことを感じることもほとんど

ないです。緊張することも少なかったような気がします。



ないです。緊張することも少なかったような気がします。

Q：そういうこともあるんですね、教えてくれてありがとうございます。それでは逆に不便に感じた点がありますか？

A：吉田；授業課題をメールで送るときのメール送信なんですけど、スマートフォンでのメール送信に慣れているせいか、パソコンを使って課題をメール送信するのがけっこう戸惑いました。パソコンを使ってのメールに慣れていない学生が多いのかなと思います。例えば、普段メールはLINEの「トーク」などを主に使っているの、SNSのそれに慣れているせいもあるのかなと思います。

Q：なかなか面白い経験ですね。最後にほかの大学と比べて九州情報大学の遠隔授業はどうか、なにかお友達とかから聞いたり、感じていることはありますか？

A：吉田；学生数が多い他大学の友達から聞いたんですけど、特に新入生が大学に全く行けなくて、「孤独感」に不安が募っているって聞きました。しかし、幸いにも九州情報大学は少人数大学なので、対面授業がやりやすいことが今回のような大きく変わった学習環境には、ぴったりはまって良かったような気がします。特に新入生に対しては、先生や職員の皆さんが、コロナ対策を行いつつ、他の学生ともコミュニケーションがとれるチャンスを作ってくれていることが良かったと思います。



Q：インタビューにこたえてくれてありがとうございました。最後に特に新入生のみなさんにひとこと。

A：榎崎&吉田；コロナウィルスの恐怖もありますが、この困難を乗り越えて、みなさん頑張りましょう。

Q：榎崎さん、吉田さん、インタビューありがとうございました。

【学生インタビュー感想】

おおむね、九州情報大学の遠隔授業は、スムーズに進行している様子で、なにかしら問題があったとしても学生自身が自分なりに環境の工夫をしたり、また、本学のPCクリニックなども問題があると、すぐに対応できている様子を聞いて安心しています。まだまだ、コロナ禍の影響は続いていますが、九州情報大学としても今後の遠隔授業のありかたについて、学生のみなさんの意見を聞きながら改善していきたいと思っています。



2020 プレゼミナール紹介！

1年生から自主的に高度な知識やスキルを学ぼう！

九州情報大学では、専門ゼミで学ぶような専門性の高い知識を得たい、スキルアップに向けた資格を取りたい、早くから就職に向けて社会と交流をするようなインターンシップを中心とした経験を得たいなど、学生のニーズに応える特色のある「プレゼミナール」を1年次から開講しています。将来のために早くから目標を決めたり、より高い目標を設定して、高度な勉強やスキル、社会経験を積んで、卒業時には、そのスキルや経験を生かして、就職や社会貢献、研究者などへの道をひらくサポート科目として、カリキュラムを作っています。ぜひ、学生のみなさんは、自分の目標に合わせて選んで、自分の可能性を広げましょう。

今年の1年生には、下記の5つのプレゼミを開講しています。

- ①流通・商業・マーケティング(1級販売士取得目標プレゼミ)
(担当教員) 遠藤・秋吉
- ②産学官連携インターンシップスタートプレゼミ
(担当教員) 秋吉・鈴木
- ③ディベート演習プレゼミ(担当教員) 荒平・橋爪・大浦
- ④英語検定試験 準1級目標プレゼミ (担当教員) 藤内
- ⑤TOEIC プレゼミ(担当教員) フリン



今回はフリン先生担当の「⑤TOEIC プレゼミ」を取材訪問。



この日はストックマーケット(株式市場)に関する講座で、実際投資のシミュレーションをして、結果どうだったのかまですべて教員と英語で会話しないといけません。でも、先生の雰囲気づくりのおかげで、緊張感もなく、みなさん笑顔で楽しんでいました。参加している、みなさんの意見は「なかなか株式投資でもうけるのは難しい！」でした。



2020 年度後期の行事予定

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため変更や中止する場合があります。*行事の詳細は、大学事務局担当部署へご確認ください。

9月	23日(水)	・後期オリエンテーション
	24日(木)	・後期開講
10月	17日(土)	・総合型選抜/吹奏楽奨学生選抜/スポーツ奨学生選抜
	31日(土)	・紫苑祭(学園祭)*実施検討中 (オープンキャンパス(留学生対象)も同時開催)
11月	1日(日)	・紫苑祭(学園祭)*実施検討中
	21日(土)	・学校推薦型選抜A日程 ・総合型選抜/吹奏楽奨学生選抜/スポーツ奨学生選抜
12月	19日(土)	・学校推薦型選抜B日程 ・総合型選抜/吹奏楽奨学生選抜/スポーツ奨学生選抜 ・外国人留学生選抜(一期・総合型)
	未定	・クリスマスパーティ(学生会)

1月	16日(土)、17日(日)	・大学入学共通テスト
	23日(土)	・学校推薦型選抜C日程 ・総合型選抜/吹奏楽奨学生選抜/スポーツ奨学生選抜
2月	27日(水)～	・後期定期試験
	5日(金)	・外国人留学生選抜(二期・総合型)
3月	10日(水)	・一般(一期)選抜
	26日(金)	・社会人選抜/編入(春期)/大学院前期・後期(春期)
3月	9日(火)	・一般(二期)選抜 ・総合型選抜/吹奏楽奨学生選抜/スポーツ奨学生選抜 ・外国人留学生選抜(三期・総合型)
	18日(木)	・学位記授与式 ・卒業記念パーティ
3月	23日(火)	・一般(三期)選抜 ・総合型選抜/吹奏楽奨学生選抜/スポーツ奨学生選抜 ・社会人選抜(総合型)/外国人留学生選抜(総合型)



SNS

情報大 SNS

九州情報大学の公式 SNS はこちらです。情報大の日常的な内容を含めて、随時更新していますので、ぜひご覧ください。フォローをよろしくお願いします。



九州情報大学
公式 Instagram
https://www.instagram.com/kiis_insta_official/



九州情報大学
公式 Twitter
https://twitter.com/kiis_official



九州情報大学
公式 Facebook
<https://www.facebook.com/kiis.jp>



九州情報大学
公式 You Tube
チャンネル名: kiisdouga





KIISで見つかる、きみの未来

KIIS 2020 OPEN CAMPUS

Web オープンキャンパス開催

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、7/19（日）に予定していた通常の対面によるオープンキャンパスは中止しました。その代わりに「Web オープンキャンパス」として学部学科紹介、施設紹介、令和3年度入学試験について、キャリアデザインセンター紹介、卒業生からのメッセージなどの動画ファイルを作成して本学 HP に掲載しました。また、8/2（日）には Zoom を使った Web 相談会を開催しました。



オープンキャンパス Web サイト



サークル 紹介

陸上競技部活動再開

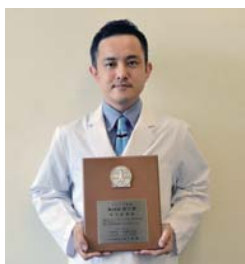
今年度は新入生 12 名が入部し、部として一層盛り上がっていくところでしたが、新型コロナウイルスの影響で 4 月以降の大会が中止となり、練習もなかなか全員で顔を合わせることができない日々が続きました。しかし 7 月から感染予防対策をしつつ試合が開催されはじめ 7/11-12 で開催された福岡県選手権には出場することがで

きました。陸上競技部も活動を再開し、エントリー期日まで残り 1 カ月足らずなので、日本インカレ参加標準記録の突破を目指して日々練習に励んでいます。今シーズン全員で参加する大会としては、9 月の第 48 回九州学生陸上競技選手権と 10 月の第 5 回九州学生陸上競技新人選手権の 2 大会のみなので、力を発揮できるよう頑張ります。



荒平高章講師が「2019 年度 日本機械学会 第 28 回瀬口賞」受賞！

荒平講師受賞インタビュー インタビュー＆編集：秋吉准教授



Q: この度は受賞おめでとうございます。率直な感想を聞かせてください。

A: 正直なところ、受賞できるとは思っていませんでした。歴代の受賞者の方々は、今でも研究の第一線で活躍されている有名な先生方ばかりですので、そこに名を連ねること自体が難しいと思っていましたので。それでも、受賞の話を聞いたときはとてもうれしかったです。

Q: もしももし、受賞した研究の内容を教えてください。

A 骨折や骨肉腫のような大規模に骨が欠損してしまった場合、そこに人工骨と呼ばれる人工的に作った材料を欠損部に移植して、早い期間で自分の骨ができるようにサポートする必要があります。

私の研究は、骨が得意な材料を設計して作ったり、骨になる細胞にいろいろな刺激を与えて、より早く骨を作ってくれるような細胞になる条件を探したりしています。これらの研究が、総合的に評価されたのではないかと思います。

Q: そのご研究で苦労なさった点、または楽しかった点などありましたら、聞かせてください。

A: 苦労した点は、細胞を扱う研究なので、どうしても毎回の実験で完全に同じ結果が得られないということですね。ある程度の傾向は出るのですが、生物を扱う以上、



必ずしも同じようにはいかないのが苦労しました。ですが、苦労して実験結果が得られた時は、とても達成感に満ち溢れています。この達成感を、ゼミの学生には味わってもらえたらと思っています。

Q: 今後どのような研究を進めていく予定ですか、もしくはすでに進めているでしょうか。目標などありましたら教えてください。

A: 今回頂いた賞に関する研究は、まだ発展途上です。今後は、これまでに得られた知見を応用した研究を展開していく予定です。また、人工知能 (AI) を使って医療問題へアプローチする研究も並行して進めていきたいと考えています。

Q: 研究を通じて、学生のみなさんににかけたいメッセージがありましたら教えてください。

A: これから本学を目指している高校生のみなさん、そしてこれからゼミ活動へ入っていく在学生のみなさん、ぜひ自分の興味・関心のある分野を見つけて下さい。そして、その分野を開拓できるゼミを選んで下さい。私のゼミは、工学・情報学の知見・技術を使って医療問題へアプローチする研究を展開しています。本学でなかなか、このような研究に興味・関心がある学生はそれほど多くはありませんが、もし、興味をもった人がいましたら、遠慮なく研究室へ足を運んでみて下さい。本学の先生方は、とても興味深い研究をしている方ばかりです。ぜひ、ひとりでも多くの高校生のみなさんが本学を目指してくれることを願っています。

